

令和5年度 夏季研修（8月）

8月に行った夏季研修、施設見学の報告です。

特別支援学校に通う子供たちのキャリアについて知るために、就学前施設や高等部卒業後の進路先を見学してきました。進路先見学は昨年度とは異なる事業所です。子供達に身に付けてほしい力、伸ばしたい力をまた掘り下げて考えたく、いろいろな場所を見学させていただきました。

I 令和5年度 教員施設見学

○就学前施設見学

- ① 7月31日(月) 乳幼児親子教室(江東区猿江)
- ② 8月 2日(水) 江東区子ども発達扇橋センター (扇橋 CoCo)
- ③ 8月25日(金) 台東区松が谷福祉会館こども療育室

○進路先見学

- ① 8月 1日(火) のびのび作業所フーズ (生活介護・就労移行支援 B 型)
仕事内容：製菓作成・販売 (焼き菓子)、企業受注 (封入、封緘)
- ② 8月 1日(火) ジョブ・サポート・プラザちよだ株式会社
(生活介護・就労継続支援 B 型・就労移行支援)
仕事内容：企業受注 (封入、封緘)、下請け作業、焼き菓子製造等
- ③ 8月 3日(木) 江東区障害者福祉センター (生活介護、就労継続支援 B 型)
 - ・ 第一作業訓練室 (生活介護)
仕事内容：作業訓練 (箱折り、冊子のカバー差し、ラベル貼り、河川敷公園の清掃等)
/園芸作業/自主製品制作 (ビーズ製品、牛乳パックを使った油処理パット作成等)
 - ・ 第二作業訓練室 (生活介護)
仕事内容：作業訓練 (冊子のカバー差し、菓子箱の組み立て、宛名シール貼り、河川敷公園の清掃等) /園芸作業/自主製品制作 (手すきはがき、ビーズストラップ)
 - ・ 第三作業訓練室 (就労継続支援 B 型)
仕事内容：作業訓練 (箱折り、ボールペン封入、ダイレクトメールの丁合・封入、河川敷公園の清掃等) /園芸作業/自主製品制作 (絞り染め、ビーズ製品、布巾作成等)
- ④ 8月 3日 (木) 株式会社 LIXIL
仕事内容：名刺作成 封入 書類PDF化、ファイリング 資料作成 グループ社内の清掃等

Ⅱ 8月3日(木)

全校研修会

「知的障がい児の摂食指導」

講師 地域ケアサポート研究所 白鳥 芳子 氏

本校には、食べる機能（唇を閉じて食物を取り込む・噛む、飲み込む等）について、上手にできない児童・生徒もいます。給食時に歯科医の巡回相談を受ける人もいます。

白鳥氏は、都立特別支援学校教員として長年摂食指導に携わり、日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士でもあります。障害児の摂食指導に造詣が深く、現在は都立特別支援学校の外部専門員や東京都外でも講演・指導をする等、御活躍されています。

今回の研修前半は、学年ごとに行った研修会（学年内児童・生徒の摂食に係る様子と歯科医の巡回相談）について報告し合い、歯科医からの助言（口唇、舌、頬筋、手の動き、姿勢の維持、食形態等）も含めて摂食指導の様子を映像を交えて情報を共有しました。

後半は、白鳥氏の講演です。まず「摂食指導は食べる機能に着目している」という摂食指導の大前提を確認した後に、摂食に必要な口腔機能、咀嚼や嚥下機能、手や頭部の機能やその発達について、また、運動機能の発達と摂食機能の相関関係等についてさまざま伺いました。

更に、それらを踏まえたうえで、指導計画の立て方を考えていくのに必要な視点について伺いました。



Ⅲ 校内選択研修

① 8月1、2日(火、水)「木工教材作成」

② 8月4日(金)「カード教材作成」

①は、本校の外部専門員である小竹明子氏を講師に迎えた選択研修です。今年度も、手指を使い、具体的な操作を伴う教材を作りました。

手は「第2の脳」と言われます。手は身体においては狭範囲ですが、脳だと手指機能を司る分野は広範囲に渡っているからです(ペンフィールドの脳マップが有名)。つまり、手を使うと脳の広範囲を刺激し、活性化できるということです。本校の子供たちは、抽象的思考よりも具体的な操作をして学ぶ方が得意です。カードマッチング教材も、木工教材も、手で具体的な操作し、見比べ、繰り返し学んでいく教材です。

②は、本校の外部専門員である富岡康一氏を講師に迎えた選択研修です。当日は「発達段階に応じた、カード教材(マッチング課題等)を用いた指導の仕方」について、具体的に教わりながらそれぞれがカード教材等を作成しました。

写真は、一例です。この他にも和の学習、文字の学習の教材を作成しました。



IV 8月24日(木)

校内研修会 「防災訓練および研修会」(都立大塚ろう学校城東分教室と合同)

防災訓練協力 東京消防庁城東消防署

講演会講師 江東区総務部防災課 防災計画係長

松山 雅則 氏

《 第1部 引き渡し訓練及び避難所設営訓練 》

被災時の教職員の動き方の確認を主目的としています。園児・児童・生徒を引き渡し、校内の災害対策本部と両校との連携確認も行いました。

引き渡し訓練後は、①情報・連絡班 ②施設・捜索班 ③食料・物資班 ④応急・救護班 ⑤避難所支援班に分かれて、それぞれが避難所設営訓練を今年も行いました。

《 第2部 防災体験(消火器訓練) 》

校内で火災が起きないことが一番ですが、絶対にないとは言い切れません。もしもの時の心得として消火器の扱い方を城東消防署の方からレクチャーをいただいた後、演習をしました。①火事場迄消火器を運んでからピンを抜く②ポンっとホースを外して火元に向ける③レバーを握り噴霧する。この3つの手順を「ピン・ボン・パン」の合言葉で覚えると、実際の時に有効だそうです。

《 第3部 防災教育講演会 「江東区の災害と防災対策について」 》

今年度は、本校PTA役員や大島中央町会の方からも御参加いただき、共に聴講しました。

現在、想定されている東海地震は、東京で震度5強。首都直下型地震は震度6強と言われています。さらに、最近の気象情報も油断なりません。大雨による浸水や荒川が氾濫する可能性もあります。この講演会では、「災害に対する心構え」として「自助7：共助：2：公助1」。特に発災後72時間は公助が空白・手薄であり、近所や災害協力隊の力の大きさを教わりました。

自助として①災害情報収集手段の確保②家庭・職場における備蓄③家庭・職場内の安全確保等があります。年に一度、防災講話を聴き、気持ちを引き締めて防災にあたります。



消火器訓練

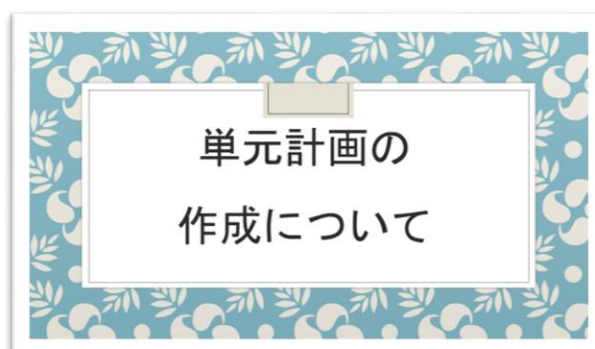
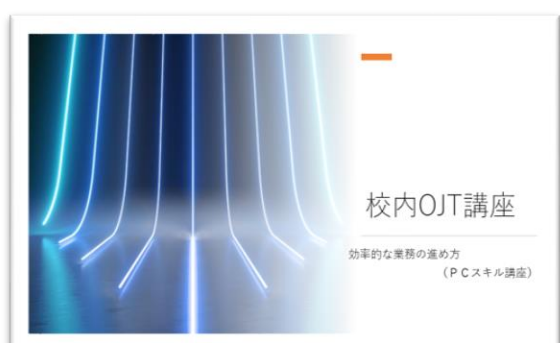
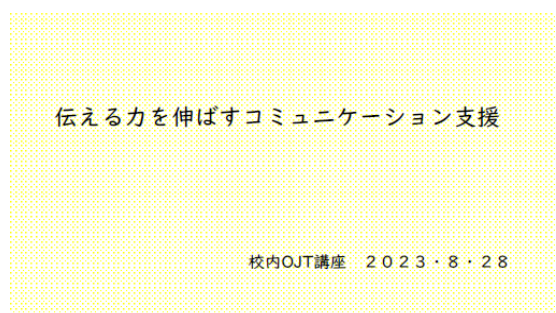
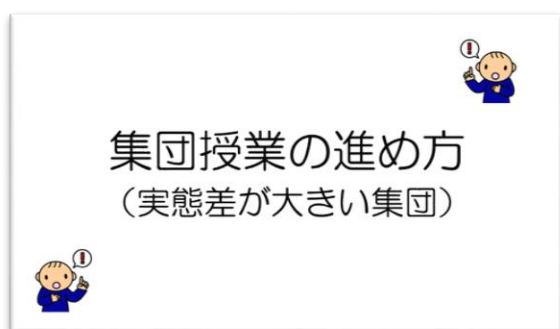


避難所設営訓練(救急班)

V 8月28日(月) 校内OJT講座

学校教員の担う業務は教科指導から生活指導、健康や障害に係る指導、保護者や学校関係機関とのやりとり、種々の書類作成等様々です。大学で学んでこなかったことが、業務の中では沢山要求されています。

この講座では、障害特性や課題が様々な子供たちへの集団学習指導、情動が不安定な子供たちへの対応、限られた勤務時間内で行う日々の教材準備、最近のICT活用技術、単元計画の立て方、効率的な業務の進め方等々を本校の主任教諭が校内教員にアドバイスする機会を設けとしました。今回は、10講座に絞り、各教員が必要な講座に参加して学び合いました。



VI 8月30日(水) 全校研修会(ICT活用)

本校の外部専門員である海老沢 穰氏を講師に迎えた全校研修です。

子供たちに貸与されている iPad のアプリを使ってできる「コマ撮りアニメーション制作」「GarageBand による音楽制作」「iMovie による編集」「keynote などのアプリケーション操作」や、iPad のアクセシビリティ設定等について演習いただきました。

子供たちが主体的に学ぶツールとしての iPad。これからの学習活動にどのように取り入れていくのか考えながら約3時間、実際に iPad を操作しながら研修に取り組みました。